

配置図（参考例）1：●●●

～作成の際の留意事項～

注 1 配置図の作成は、用紙サイズA3まで、不動産登記法第14条地図（公図）を基に作成し、必ず縮尺を明記してください。

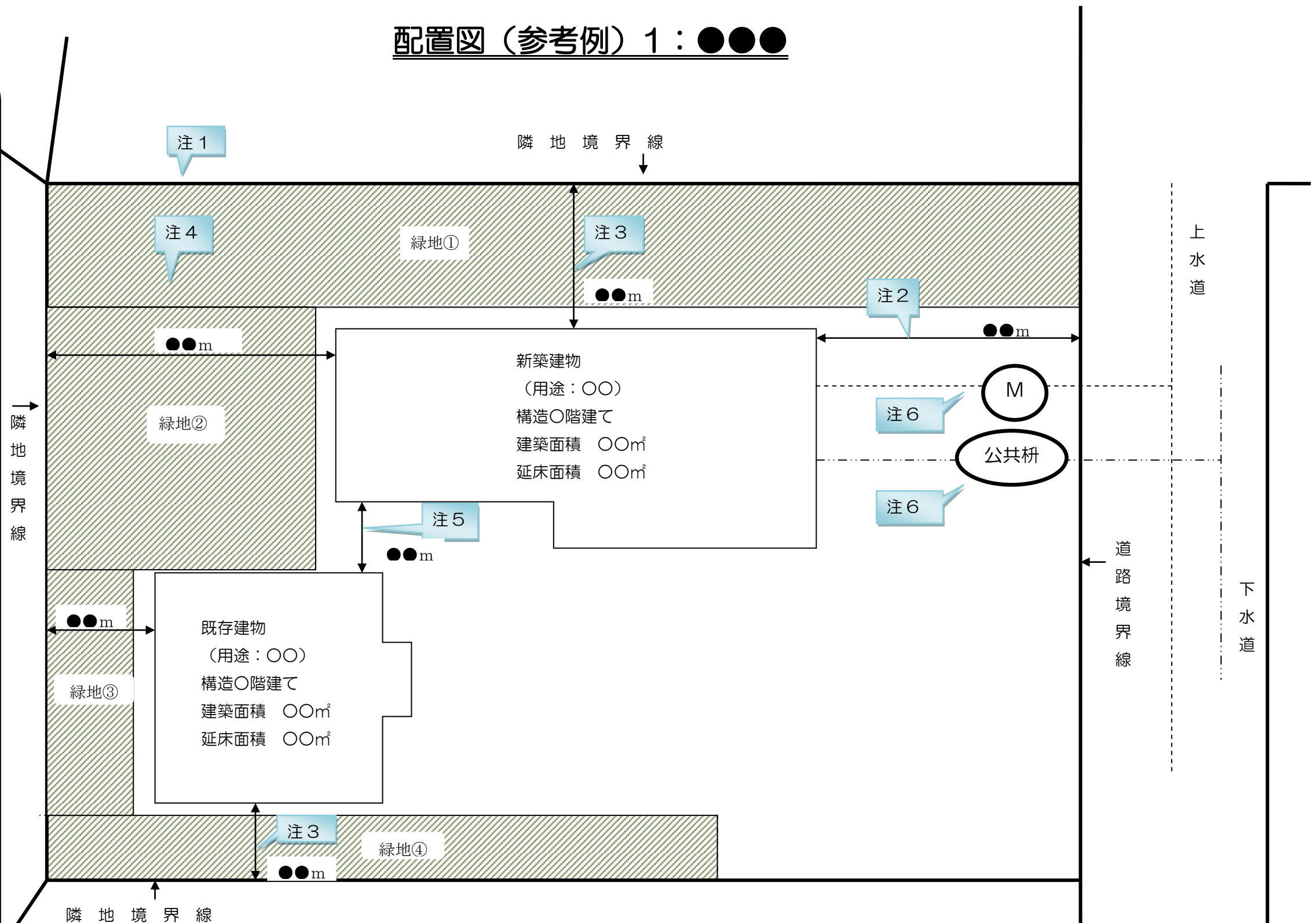
注 2 道路境界線からの後退距離
道路に面している部分がある場合は、全ての面について最短距離を記入してください。

注 3 隣地境界線からの後退距離
隣地に面している部分がある場合は、全ての面について最短距離を記入してください。

注 4 緑化率の明記
緑地部分を明記してください。（緑地とは、植栽・花壇・芝生・家庭菜園等を計画している部分です。また、将来前述の利用ができるように舗装等の施工をしない部分も含むことができます。図示方法は、網かけや緑色での着色を用いて、わかりやすく図示してください。また、その面積と面積の算出方法を別表記入例を参考に明記してください。）

注 5 既存建築物がある場合はその建築物との壁面距離を記入してください。

注 6 給排水経路を明記してください。



緑地①	縦×横＝●●●㎡
緑地②	縦×横＝●●●㎡
緑地③	縦×横＝●●●㎡
緑地④	縦×横＝●●●㎡
合計	●●●㎡
緑地合計面積÷全体面積＝緑地率	

※なお、求積方法が複雑で上記で示すことができない場合は、別途求積図を添付してください。

図面作製者 資格
氏名